

令和2年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和2年8月6日  
東

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所  
 コード番号 4931 URL <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 孝洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田上 和宏 (TEL) 092(720)5800  
 四半期報告書提出予定日 令和2年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画のオンデマンド配信)

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年9月期第3四半期の業績 (令和元年10月1日～令和2年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年9月期第3四半期	25,573	0.8	2,552	△1.6	2,549	0.1	1,593	1.2
元年9月期第3四半期	25,376	—	2,592	—	2,546	—	1,573	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年9月期第3四半期	73.82	73.42
元年9月期第3四半期	109.91	109.87

- (注) 1. 当社は、平成31年3月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。令和元年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 当社は、令和元年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、令和元年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から令和元年9月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年9月期第3四半期	18,156	13,717	75.3
元年9月期	18,575	12,758	68.7

(参考) 自己資本 2年9月期第3四半期 13,673百万円 元年9月期 12,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年9月期	—	0.00	—	17.50	17.50
2年9月期	—	0.00	—		
2年9月期(予想)				28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年9月期の業績予想 (令和元年10月1日～令和2年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	4.3	3,150	10.0	3,130	10.7	2,010	10.2	93.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

**※ 注記事項**

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2年9月期3Q	21,611,300株	元年9月期	21,611,300株
---------	-------------	-------	-------------

② 期末自己株式数

2年9月期3Q	190,100株	元年9月期	一株
---------	----------	-------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2年9月期3Q	21,583,680株	元年9月期3Q	14,320,300株
---------	-------------	---------	-------------

(注) 当社は、平成31年3月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。令和元年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による反動減の影響が一部残る中、新型コロナウイルス感染症の流行により、経済活動の停滞や個人消費の悪化などの大きな影響を受けました。

世界的にも感染拡大収束の見通しは立っておらず、国内外の景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような市場環境のもと、当第3四半期累計期間におきましては消費税率引き上げに伴う前事業年度への売上前倒しによる反動の影響と、直営店舗販売・卸売販売チャンネルと海外販売チャンネルにおける新型コロナウイルス感染症による影響を一部受けたものの、売上高の主力を担う通信販売チャンネルでは大きな影響はありませんでした。

通信販売においては、パーフェクトワン オールインワン美容液ジェルシリーズをご利用中のお客さまに向けた、オールインワンジェルと併用可能な季節限定商品の販売が好調に推移したことに加えて、国内EC販売における新規顧客の獲得施策や外部ECモールへの積極的な広告投資により売上高は前年同期を上回る結果となりました。

直営店舗販売・卸売販売においては、バラエティショップやGMS(※1)を中心に取扱店舗数の増加や売り場の拡大施策に継続的に取り組んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による店舗の臨時休業や外出自粛による客数の減少により、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

海外販売においては、第1四半期累計期間において中国を中心に売上高が好調に推移していた中、第2四半期累計期間において新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中国国内の物流停止や中国向け輸出の延期等が生じたことで、販売活動が一部影響を受けましたが、海外EC販売の伸長により売上高は前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は25,573百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は2,552百万円(前年同期比1.6%減)、経常利益は2,549百万円(前年同期比0.1%増)、四半期純利益は1,593百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

なお、当社の事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

※1 General Merchandise Store (総合スーパー)

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は18,156百万円となり、前事業年度末に比べ419百万円減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少221百万円、売掛金の減少183百万円及び商品の増加93百万円等によるものであります。

負債は4,438百万円となり、前事業年度末に比べ1,378百万円減少となりました。これは主に、未払金の減少595百万円及び未払法人税等の減少462百万円等によるものであります。

純資産は13,717百万円となり、前事業年度末に比べ958百万円増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上1,593百万円、配当金の支払いによる減少378百万円及び自己株式の取得による減少299百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年9月期の業績予想につきましては、令和元年11月8日付「令和元年9月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和元年9月30日)	当第3四半期会計期間 (令和2年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,576	10,354
売掛金	2,913	2,730
商品	964	1,057
その他	326	317
貸倒引当金	△87	△97
流動資産合計	14,693	14,362
固定資産		
有形固定資産	2,140	2,306
無形固定資産	653	506
投資その他の資産	1,088	979
固定資産合計	3,882	3,793
資産合計	18,575	18,156

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和元年9月30日)	当第3四半期会計期間 (令和2年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	416	268
1年内返済予定の長期借入金	173	173
未払金	2,297	1,702
未払法人税等	848	385
賞与引当金	201	107
ポイント引当金	264	119
返品調整引当金	39	49
その他	303	381
流動負債合計	4,544	3,188
固定負債		
長期借入金	936	806
退職給付引当金	149	157
役員退職慰労引当金	150	163
その他	36	123
固定負債合計	1,272	1,250
負債合計	5,817	4,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,826	3,826
資本剰余金	3,817	3,817
利益剰余金	5,113	6,328
自己株式	—	△299
株主資本合計	12,757	13,672
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
新株予約権	—	43
純資産合計	12,758	13,717
負債純資産合計	18,575	18,156

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自令和元年10月1日 至令和2年6月30日)
売上高	25,376	25,573
売上原価	3,669	3,832
売上総利益	21,707	21,741
返品調整引当金繰入額	7	9
差引売上総利益	21,699	21,731
販売費及び一般管理費	19,107	19,179
営業利益	2,592	2,552
営業外収益		
受取配当金	4	19
受取賃貸料	9	8
その他	6	3
営業外収益合計	19	32
営業外費用		
為替差損	13	0
投資有価証券評価損	48	32
その他	3	1
営業外費用合計	65	34
経常利益	2,546	2,549
特別損失		
固定資産除却損	—	3
減損損失	—	10
特別損失合計	—	13
税引前四半期純利益	2,546	2,536
法人税、住民税及び事業税	986	856
法人税等調整額	△14	86
法人税等合計	972	942
四半期純利益	1,573	1,593

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。